

実施計画事業名		防疫対策事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部衛生課		課長(主幹)名	田端 義親			
総合計画体系	分野	3	環境・生活					
	政策	2	暮らしを支える生活環境づくり					
	施策	2	良好な生活環境を確保します					
	関連施策							
現状と課題	ペットブームなどにより登録頭数が増える状況にある。室内犬の増加等から注射実施率の低下が見られる。飼主のマナー向上の徹底や、放し飼いの苦情が多い。ロシア船からの不法上陸犬は平成17年をピークに減少はしているものの、引き続き監視が必要である。 蜂については、その年の気象状況等により発生数が変動するが、例年かなりの相談と駆除依頼があり、人的被害が及ばぬよう駆除を行っている。							
目的	安全・安心な生活環境の維持及び衛生環境の維持							
施策展開の	◆狂犬病予防法に基づく、犬の登録(生涯1回)予防注射(年1回)、鑑札の交付、死亡届及び所在地変更等の管理事務。毎年、獣医師会の協力を得て、市内各所を回り狂犬病予防注射の集団接種と新規登録の受け付け(年1回、9日間)を行っている。 ◆市民からの依頼により、夏季に活発化する蜂の巣作りに対する駆除を行う。							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	狂犬病予防注射の接種率		%	目標	↑	↑	↑	
説明	(狂犬病予防接種を受けた犬の数÷畜犬登録の累計数)×100			実績	68.6	68.0		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	巡回指導パトロールの実施回数		回	目標	125	125	125	
	説明	犬の放し飼い等を防止するために実施したパトロールの回数		実績	225	138		
	蜂の巣の駆除出動依頼により駆除した巣の数		個	目標	50	50	50	
	説明	市が駆除を行った蜂の巣の数		実績	47	55		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	989	884	896		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	853	748	766		
	一般財源		千円	136	136	130		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.09	0.83	0.79		
人件費(B)		千円	7,402	5,772	5,494			
計(A+B)		千円	8,391	6,656	6,390			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 畜犬登録件数及び狂犬病予防接種頭数の実績とも前年とほぼ横ばい状態であった。今後は、飼い主の登録に対する理解と飼い主のマナー向上に向けて広報等による周知を徹底するとともに関係機関との連携を図っていく。また、不法上陸犬への監視を含めパトロール等を継続していく。 蜂の巣駆除については、年により発生、駆除件数に違いが出るが、今後についても対応を継続していく。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 衛生環境の維持に係る各種啓発活動に努める。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--